



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

川南原国営施設応急対策事業

通山幹線水路国道横断部補修工事に伴う建物等事後調査業務

積算書

(当初)

九州農政局
宮崎中部農業水利事業所

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S70062	*** S単 - 1号 *** 作業計画の策定 作業計画の策定		業務	48,070		歩A・単A
S71087	*** S単 - 2号 *** 事後調査(木造建物) 木造建物A,70㎡以上130㎡未満,建物内部の調査を行わない場合		棟	119,648		歩A・単A
S71087	*** S単 - 3号 *** 事後調査(木造建物) 木造建物A,130㎡以上200㎡未満,建物内部の調査を行わない場合		棟	154,186		歩A・単A
S71087	*** S単 - 4号 *** 事後調査(木造建物) 木造建物C,70㎡未満,建物内部の調査を行わない場合		棟	72,095		歩A・単A
S71089	*** S単 - 5号 *** 事後調査(非木造建物) 非木造建物八,200㎡未満,建物内部の調査を行わない場合		棟	88,133		歩A・単A
S71089	*** S単 - 6号 *** 事後調査(非木造建物) 非木造建物八,200㎡以上400㎡未満,建物内部の調査を行わない場合		棟	110,576		歩A・単A
S71091	*** S単 - 7号 *** 事後調査(工作物) 事後調査(工作物) 100㎡以上300㎡未満		箇所	115,348		歩A・単A
S71097	*** S単 - 8号 *** 地盤変動影響調査等(現地踏査) 地盤変動影響調査等(現地踏査)		業務	57,876		歩A・単A
S71113	*** S単 - 9号 *** 因果関係調査・検討 因果関係調査・検討		権利者	33,806		歩A・単A
S71115	*** S単 - 10号 *** 騒音等調査(現地踏査) 騒音等調査(現地踏査)		業務	74,200		歩A・単A
S72006	*** S単 - 11号 *** 打合せ協議(打合せ・移動) 用地調査基準日額		式	87,500		歩A・単A
S72006	*** S単 - 12号 *** 現地調査にかかる移動日分の基準日額 用地調査基準日額		式	246,790		歩A・単A
S72008	*** S単 - 13号 *** 打合せ(用地調査旅費・交通費) 打合せ(用地調査旅費・交通費)		回	1,885		歩A・単A
X72004	*** X単 - 1号 *** 旅費交通費(用地調査外業日帰用) 旅費交通費(用地調査外業日帰用)		式	15,116		歩A・単A

事業名	川南原国営施設応急対策事業
業務名	通山幹線水路国道横断面補修工事に伴う建物等事後調査業務

業務別業務名:用地調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単 - 1号 ***						
S70062	作業計画の策定		業務		1.000	業務 歩A 当たり算出
	作業計画の策定			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分	歩掛		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04003	主任技師 内業	0.380	人	66,900	25,422	
R04004	技師(A) 内業	0.380	人	59,600	22,648	
	合計				48,070	算出数量 1.000 業務
	単価		業務		48,070	
*** S単 - 2号 ***						
S71087	事後調査(木造建物)		棟		1.000	棟 歩A 当たり算出
	事後調査(木造建物) 木造建物A,70㎡以上130㎡未満,建物内部の調査を行わない場合			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分	木造建物A		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)建物延べ面積	70㎡以上130㎡未満				
	3)調査区分	建物内部の調査を行わない場合		深夜時間:0.0		
R04004	技師(A) 外業	0.430	人	59,600	25,628	
R04004	技師(A) 内業	0.160	人	59,600	9,536	
R04005	技師(B) 外業	0.430	人	48,500	20,855	
R04005	技師(B) 内業	0.440	人	48,500	21,340	
R04006	技師(C) 外業	0.430	人	40,300	17,329	
R04006	技師(C) 内業	0.270	人	40,300	10,881	
R04007	技術員 内業	0.390	人	36,100	14,079	
	合計				119,648	算出数量 1.000 棟
	単価		棟		119,648	
*** S単 - 3号 ***						
S71087	事後調査(木造建物)		棟		1.000	棟 歩A 当たり算出
	事後調査(木造建物) 木造建物A,130㎡以上200㎡未満,建物内部の調査を行わない場合			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分	木造建物A		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)建物延べ面積	130㎡以上200㎡未満				
	3)調査区分	建物内部の調査を行わない場合		深夜時間:0.0		
R04004	技師(A) 外業	0.550	人	59,600	32,780	
R04004	技師(A) 内業	0.200	人	59,600	11,920	
R04005	技師(B) 外業	0.550	人	48,500	26,675	
R04005	技師(B) 内業	0.580	人	48,500	28,130	
R04006	技師(C) 外業	0.550	人	40,300	22,165	
R04006	技師(C) 内業	0.350	人	40,300	14,105	
R04007	技術員 内業	0.510	人	36,100	18,411	
	合計				154,186	算出数量 1.000 棟
	単価		棟		154,186	
*** S単 - 4号 ***						
S71087	事後調査(木造建物)		棟		1.000	棟 歩A 当たり算出
	事後調査(木造建物) 木造建物C,70㎡未満,建物内部の調査を行わない場合			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名		川南原国営施設応急対策事業				
業務名		通山幹線用水路国道横断部補修工事に伴う建物等事後調査業務				
業務別業務名		用地調査業務				
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	1)作業区分 2)建物延べ面積 3)調査区分	木造建物C 70㎡未満 建物内部の調査を行わない場合		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師(A) 外業		0.220	人	59,600	13,112
R04004	技師(A) 内業		0.110	人	59,600	6,556
R04005	技師(B) 外業		0.220	人	48,500	10,670
R04005	技師(B) 内業		0.360	人	48,500	17,460
R04006	技師(C) 外業		0.220	人	40,300	8,866
R04006	技師(C) 内業		0.150	人	40,300	6,045
R04007	技術員 内業		0.260	人	36,100	9,386
	合計					算出数量 1.000 棟
	単 価			棟		72,095
	*** S単 - 5号 ***					
S71089	事後調査(非木造建物)			棟		1.000 棟 歩A 当たり算出
	事後調査(非木造建物) 非木造建物八,200㎡未満,建物内部の調査を行わない場合			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分 2)建物延べ面積 3)調査区分	非木造建物八 200㎡未満 建物内部の調査を行わない場合		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師(A) 外業		0.320	人	59,600	19,072
R04004	技師(A) 内業		0.110	人	59,600	6,556
R04005	技師(B) 外業		0.320	人	48,500	15,520
R04005	技師(B) 内業		0.330	人	48,500	16,005
R04006	技師(C) 外業		0.320	人	40,300	12,896
R04006	技師(C) 内業		0.180	人	40,300	7,254
R04007	技術員 内業		0.300	人	36,100	10,830
	合計					算出数量 1.000 棟
	単 価			棟		88,133
	*** S単 - 6号 ***					
S71089	事後調査(非木造建物)			棟		1.000 棟 歩A 当たり算出
	事後調査(非木造建物) 非木造建物八,200㎡以上400㎡未満,建物内部の調査を行わない場合			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分 2)建物延べ面積 3)調査区分	非木造建物八 200㎡以上400㎡未満 建物内部の調査を行わない場合		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師(A) 外業		0.400	人	59,600	23,840
R04004	技師(A) 内業		0.140	人	59,600	8,344
R04005	技師(B) 外業		0.400	人	48,500	19,400
R04005	技師(B) 内業		0.410	人	48,500	19,885
R04006	技師(C) 外業		0.400	人	40,300	16,120
R04006	技師(C) 内業		0.230	人	40,300	9,269
R04007	技術員 内業		0.380	人	36,100	13,718
	合計					算出数量 1.000 棟
	単 価			棟		110,576
	*** S単 - 7号 ***					

事業名	川南原国営施設応急対策事業
業務名	通山幹線水路国道横断面補修工事に伴う建物等事後調査業務

業務別業務名:用地調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
S71091	事後調査(工作物)		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	事後調査(工作物) 100㎡以上300㎡未満			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分 2)敷地面積	歩掛 100㎡以上300㎡未満		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師(A) 外業	0.410	人	59,600	24,436	
R04004	技師(A) 内業	0.210	人	59,600	12,516	
R04005	技師(B) 外業	0.410	人	48,500	19,885	
R04005	技師(B) 内業	0.380	人	48,500	18,430	
R04006	技師(C) 外業	0.410	人	40,300	16,523	
R04006	技師(C) 内業	0.280	人	40,300	11,284	
R04007	技術員 内業	0.340	人	36,100	12,274	
	合計				115,348	算出数量 1.000 箇所
	単価		箇所		115,348	
	*** S単 - 8号 ***					
S71097	地盤変動影響調査等(現地踏査)		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
	地盤変動影響調査等(現地踏査)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分	歩掛		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師(A) 外業	0.390	人	59,600	23,244	
R04005	技師(B) 外業	0.390	人	48,500	18,915	
R04006	技師(C) 外業	0.390	人	40,300	15,717	
	合計				57,876	算出数量 1.000 業務
	単価		業務		57,876	
	*** S単 - 9号 ***					
S71113	因果関係調査・検討		権利者		1.000 権利者	歩A 当たり算出
	因果関係調査・検討			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分	歩掛		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04004	技師(A) 外業	0.160	人	59,600	9,536	
R04004	技師(A) 内業	0.120	人	59,600	7,152	
R04005	技師(B) 外業	0.160	人	48,500	7,760	
R04005	技師(B) 内業	0.060	人	48,500	2,910	
R04006	技師(C) 外業	0.160	人	40,300	6,448	
	合計				33,806	算出数量 1.000 権利者
	単価		権利者		33,806	
	*** S単 - 10号 ***					
S71115	騒音等調査(現地踏査)		業務		1.000 業務	歩A 当たり算出
	騒音等調査(現地踏査)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)作業区分	歩掛		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	

事業名	川南原国営施設応急対策事業					
業務名	通山幹線用水路国道横断部補修工事に伴う建物等事後調査業務					
業務別業務名:用地調査業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
R04004	技師(A) 外業	0.500	人	59,600	29,800	
R04005	技師(B) 外業	0.500	人	48,500	24,250	
R04006	技師(C) 外業	0.500	人	40,300	20,150	
	合計				74,200	算出数量 1.000 業務
	単価		業務		74,200	
	*** S単 - 11号 ***					
S72006	打合せ協議(打合せ・移動) 用地調査基準日額		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技師の人数	1.000人				
	2)技師Aの人数	1.000人				
	3)技師Bの人数	1.000人				
	4)技師Cの人数	0.000人				
	5)技師Dの人数	0.000人				
	6)打合せ日数	0.500日				
	7)往復移動日数	0.000日				
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師(A)	0.500	人	59,600	29,800	
R04005	技師(B)	0.500	人	48,500	24,250	
	合計				87,500	算出数量 1.000 式
	単価		式		87,500	
	*** S単 - 12号 ***					
S72006	現地調査にかかる移動日分の基準日額 用地調査基準日額		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	1)主任技師の人数	0.000人				
	2)技師Aの人数	5.940人				
	3)技師Bの人数	5.940人				
	4)技師Cの人数	5.940人				
	5)技師Dの人数	0.000人				
	6)打合せ日数	0.000日				
	7)往復移動日数	0.280日				
R04004	技師(A)	1.663	人	59,600	99,115	
R04005	技師(B)	1.663	人	48,500	80,656	
R04006	技師(C)	1.663	人	40,300	67,019	
	合計				246,790	算出数量 1.000 式
	単価		式		246,790	
	*** S単 - 13号 ***					
S72008	打合せ(用地調査旅費・交通費) 打合せ(用地調査旅費・交通費)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	1)主任技師人数	1.000人				
	2)技師A人数	1.000人				
	3)技師B人数	1.000人				
	4)技師C人数	0.000人				
	5)打合せ日数	0.500日				
	6)往復移動日数	0.000日				
	7)宿泊区分	通勤により打合せ				
	8)交通機関区分	ライトバン				
	9)高速道路往復料金(税別)	0.000				
	10)鉄道往復1人当料金(税別)	0.000				
	11)バス往復1人当料金(税別)	0.000				
	12)船舶往復1人当料金(税別)	0.000				
	13)航空往復1人当料金(税別)	0.000				
	14)ライトバン使用日数	1日				
	15)時間区分	1時間まで				
	16)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				

事業名 川南原国営施設応急対策事業
 業務名 通山幹線水路国道横断部補修工事に伴う建物等事後調査業務

業務別業務名:用地調査業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** X単 - 1号 ***					
X72004	旅費交通費(用地調査外業日帰用)		式		1.000	歩A 当たり算出
	旅費交通費(用地調査外業日帰用)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)高速道路往復料金(税別)	0.000		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)鉄道往復1人当料金(税別)	0.000		深夜時間:0.0		
	4)バス往復1人当料金(税別)	0.000				
	5)船舶往復1人当料金(税別)	0.000				
	6)航空往復1人当料金(税別)	0.000				
	7)時間区分	2時間まで				
	8)ライトバン使用日数	6日				
	9)主任技師外業日数	0.000日				
	10)技師A外業日数	5.940日				
	11)技師B外業日数	5.940日				
	12)技師C外業日数	5.940日				
	13)技師D外業日数	0.000日				
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン 二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	6.000	日	1,650	9,900	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	32.400	L	161	5,216	
	合計				15,116	算出数量 1.000 式
	単価				15,116	

令和7年度

川南原国営施設応急対策事業

通山幹線用水路国道横断部補修工事に伴う

建物等事後調査業務

特 別 仕 様 書

九州農政局宮崎中部農業水利事業所

(適用範囲)

第1条 この特別仕様書は、令和7年度川南原国営施設応急対策事業通山幹線用水路国道横断部補修工事に伴う建物等事後調査業務（以下「本業務」という）に適用する。

2 本業務は、用地調査等共通仕様書（以下「共通仕様書」という）及び地盤変動影響調査算定要領（以下「要領」という。）によるほか、この特別仕様書により実施する。

(業務概要等)

第2条 本業務は、工事施工前に実施した建物等事前調査（以下「事前調査」という。）の損傷箇所等の変化及び新たに発生した損傷について、その状態及び程度を調査し、因果関係の調査・検討を行うものである。

2 本業務の概要は、次のとおりである。

(1) 実施場所

宮崎県児湯郡川南町及び高鍋町地内（別紙業務位置図のとおり）

(2) 作業項目及び内容

- ・地盤変動影響調査等（事後調査（水準測量を含む）） 別紙作業数量のとおり
- ・騒音等調査（因果関係の調査・検討） 別紙作業数量のとおり

なお、作業数量については、今後の調査状況により変更となる場合がある。

(班体制)

第3条 本業務は、1班以上の編制を想定している。

(貸与資料等)

第4条 本業務実施のために次の資料を貸与する。

なお、貸与資料は、完了検査時に一括返納しなければならない。

資料名	数量	備考
令和6年度川南原国営施設応急対策事業 通山幹線用水路国道横断部補修工事に伴う建物等事前調査業務 報告書	1式	
令和6年度川南原国営施設応急対策事業 通山幹線用水路国道横断部補修工事 関係書類	1式	

(指示事項)

第5条 本業務の実施に当たり、関係者をみだりに刺激するような行為はもとより、調査によって知り得た内容を他に漏らしたり、調査書を他に転用してはならない。

なお、調査に際しては、権利者等へ調査中の立会いを求めるものとし、権利者等の都合により常時立会いが出来ない場合には、その旨を記載した書面に記名を求めるものとする。

2 事後調査等実施に当たっての指示事項は、次のとおりである。

(1) 事後調査

- ① 損傷箇所は、すべて図示、鮮明に区別出来るよう記録写真を撮ること。
- ② 記録写真は、台帳に番号、記号並びに損傷名、程度等を記載の上、事前調査記録写真と対比出来るようにファイルすること。
- ③ 要領第10条第2項に記載された写真撮影について、建物外部は2m程度の範囲で分割し

た記録写真を撮ること。

ただし、その他の先進的な技術を活用して同等以上の撮影が可能な場合はこの限りではない。

(2) 因果関係調査

因果関係の判定に必要な事実関係の調査を次により行うものとする。

- ① 損害発生の時期・状況と工事施工の時期・状況との関連性
- ② 損害の発生原因
- ③ 当方工事以外の原因者の存在と被害の複合性
- ④ 原因行為場所と被害発生地との地形的、地質的、地勢的な条件
- ⑤ その他必要な事項

3 写真撮影に当たっては、要領第10条に記載する改ざん防止メディアを使用するデジタルカメラによるものとし、損傷を拡大して確認できるよう、高画質で撮影を行うものとする。

(成果物等)

第6条 成果物は共通仕様書第17条に基づき作成し、提出する成果物及び提出部数等は、下記のとおりとする。

(1) 事後調査書等

- | | |
|--------------------|------------------------------------|
| ① 調査区域位置図 | 正、副本各1部(A4綴じ込み)、電子データ正、副各1部(CD-R等) |
| ② 調査区域平面図 | 〃 |
| ③ 建物等調査一覧表 | 〃 |
| ④ 水準測量(観測手簿、計算簿等) | 〃 |
| ⑤ 建物等調査書(総括表) | 〃 |
| ⑥ 建物等調査書(平面図、立面図等) | 〃 |
| ⑦ 損傷調査書 | 〃 |
| ⑧ 写真台帳 | 〃※1 |

(2) 因果関係調査書

〃

(3) その他必要な資料 1式

※1 正本には電子記録媒体及び縮小画像一覧を添付。副本にはプリント(A4両面印刷)を添付。

※2 撮影した画像をPDF化する。

2 本業務は電子納品の対象であるため、電子データ(CD-R等)の提出については、共通仕様書第17条3項によるものとする。

3 成果物の提出先は、九州農政局宮崎中部農業水利事業所とする。

(管理技術者及び打合せ)

第7条 管理技術者の要件は、共通仕様書第8条3によるものとする。

ただし、低入札業務における品質確保対策の施行により定められた割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約した場合には、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに作業日毎に業務内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告するものとする。

2 本業務の実施に当たっては、次の段階で打合せを行うものとし、出席者は管理技術者外2名以上

とする。

なお、打合せの場所は、九州農政局宮崎中部農業水利事業所とする。

- (1) 業務に着手する時
- (2) 中間（建物等調査終了時）
- (3) 成果物のとりまとめの段階

ただし、低入札業務における品質確保対策の施行により定められた割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第42条に定める作業計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

（低入札価格契約における第三者照査）

第8条 低入札業務における品質確保対策の施行により定められた割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約した場合においては、受注者は「業務請負契約書第11条照査技術者」及び「共通仕様書第9条照査技術者及び照査の実施」については、受注者が自ら行う照査とは別に、受注者の責任において共通仕様書等を基本とする第三者の照査（以下、「第三者照査」という。）を実施しなければならない。

2 第三者照査の企業に要求される資格

- (1) 予決令第98条において準用する予決令第70条及び第71条の規定に該当していないこと。
- (2) 九州農政局において、令和7・8年度（当該業種区分）の一般競争（指名競争）参加資格の認定を受けていること。
- (3) 九州農政局長から、建設コンサルタント業務等に関し指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 共通仕様書第30条守秘義務を遵守できるものであること。
- (5) 中立的、公平な立場で照査が可能なる者であること。なお、第三者照査を実施するものは受注者との関係において、以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

① 資本関係

- (ア) 親会社と子会社の関係にある
- (イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある

② 人的関係

- (ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている

3 第三者照査を行う照査技術者に要求される資格

第三者照査を行う照査技術者は、受注者が配置する照査技術者と同等の能力と経験を有する以下の者であること。

- ①照査技術者と同等の同種又は類似業務実績を有する者
- ②照査技術者と同等の技術者資格を有する者

4 照査技術者の通知

受注者は、自ら行う照査の他に、第三者照査を行う照査技術者を定め発注者に通知するものとする。

5 照査計画

受注者は、第三者の照査方法については、自ら行う照査とあわせて業務計画書に照査計画として、具体的な照査時期、照査事項等を定めなければならない。

また、照査結果及び照査状況については、その都度監督職員に報告しなければならない。

6 成果物のとりまとめ段階時打合せへの立会い

本特別仕様書第7条第2項に示す打合せのうち、成果物のとりまとめ段階での打合せ時には、第三者照査を行う照査技術者も立ち会うものとする。

7 第三者照査の照査技術者のAGRIS登録

共通仕様書第12条の農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービス（AGRIS）の登録に当たっては、第三者照査を行った照査技術者の実績登録は認めない。

8 契約不適合責任

引き渡された成果物が種類又は品質に関して契約の内容に適合しないもの（以下「契約不適合」という。）であるときは、業務請負契約書第41条契約不適合責任のとおり、受注者に対し、成果物の修補又は代替物の引渡しによる履行の追完を請求することができるものであり、第三者照査を実施したものが責任を負うものではない。

（実施期間）

第9条 本業務の実施期間は、契約締結の日から74日間とする。

（情報共有システム）

第10条 共通仕様書第11条第3項に基づき、情報共有システムの活用を行う。

（契約変更）

第11条 業務請負契約書第17条から第20条に規定する協議事項は、下記のとおりとする。

- （1）本特別仕様書第2条第2項に示す「実施場所」、「作業項目及び内容」に変更が生じた場合
- （2）本特別仕様書第6条第1項に示す「成果物」及びこの数量に変更が生じた場合
- （3）本特別仕様書第7条第2項に示す「打合せ回数」に変更が生じた場合
- （4）本特別仕様書第9条に示す「実施期間」に変更が生じた場合

（疑義）

第12条 本特別仕様書に疑義を生じたとき又は定めのない事項については、監督職員の指示を受けるものとする。

別紙

作業数量

業務施行場所：宮崎県児湯郡川南町及び高鍋町地内

歩掛り：農林水産省監修による土地改良事業用地調査等請負業務事務処理要領による

項目	数量	備考
作業計画の策定	1業務	
打合せ協議	1式	初回 中間1回 最終
地盤変動影響調査等（現地踏査）	1業務	
事後調査 木造建物A 70㎡以上130㎡未満	1棟	内部調査 なし
事後調査 木造建物A 130㎡以上200㎡未満	3棟	内部調査 なし
事後調査 木造建物C 70㎡未満	1棟	内部調査 なし
事後調査 非木造建物ハ 200㎡未満	1棟	内部調査 なし
事後調査 非木造建物ハ 200㎡以上400㎡未満	1棟	内部調査 なし
事後調査 工作物 100㎡以上300㎡未満	3箇所	内部調査 なし
騒音等調査（現地踏査）	1業務	
因果関係の調査・検討	5権利者	



業務位置図

令和7年度川南原国営施設応急対策事業
通山幹線用水路国道横断部補修工事に伴う建物等事後調査業務



日向灘

凡例	
	受益地（水田）
事業対象施設（国営）	
	用水路（幹線用水路）
	用水路（支線用水路）
	既設利用

図面の名称	
国営川南原土地改良事業 一般計画平面図	
縮尺 S=1/25,000(A1) S=1/50,000(A3)	
図面番号	1
1葉の内1枚	

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図25000を複製したものである。（承認番号）